

報道関係各位		発信年月日	令和 8 年 8 月 1 3 日	送付枚数 (本紙含む)	1 枚
担当部課名		担当課長名	担当者職氏名	連絡先電話番号	
福祉部社会福祉課		課長 和田 英樹	主幹 道元 健太郎	(0836) 82-1174	
件名	障がいのある方の災害への備えを考える 相談支援専門員向け研修会で「個別避難計画」をテーマに講義します				
内 容					
市障害福祉課が実施する「令和 8 年度 山陽小野田市相談支援事業所相談支援専門員研修会」において、市社会福祉課職員が講師として、「障がいのある方の災害への備えと個別避難計画」をテーマに講義を行います。 近年、豪雨や地震などの自然災害が激甚化する中、障がいのある方など、災害時に自力で避難することが難しい方への備えが重要となっています。個別避難計画は、一人ひとり、「どこに避難するか」「誰に連絡するか」「どのような配慮が必要か」などを整理するもので、単なる書類作成ではなく、命を守る体制づくりにつなげる取組です。 当日は、西日本豪雨災害の事例も踏まえながら、相談支援専門員が日頃の支援と災害への備えをどうつなげていくか、市の取組状況や計画作成の進め方を分かりやすくお伝えします。今回の研修は、障害福祉の現場を担う専門職と防災の視点を共有し、平時からのつながりを災害時の支援につなげることを目的としています。					
1 日 時	8 月 2 0 日（木） 1 0 時 0 0 分～ 1 1 時 3 0 分 ※講義は 1 0 時 0 0 分～ 1 0 時 4 5 分				
2 場 所	高千帆地域交流センター2 階講義室				
3 内 容	なぜ「個別避難計画」が必要か、「個別避難計画」の作成方法、市の取組紹介、動画やミニワークを通じた意見交換				
4 参加者	相談支援専門員約 1 0 名				
5 講 師	市社会福祉課職員				
6 市の取組	市では、個別避難計画について、「最初から完璧を目指さず、まずは 1 件、暫定版から」という考え方で取組を進めており、令和 8 年 8 月 13 日現在、79 件作成しています。				